

志願書2 <本科生(日本文学科)用>

法政大学通信教育部

※必ず志願者本人の自筆、横書き、ペンまたはボールペンで記入のこと。
(代筆者が判明した場合は入学不許可とします。)

志望学部学科	文学部日本文学科
氏名	

1. 課題図書を1冊選んで読み、その内容について論評してください(400字以上、500字以内)。
著者名、書名、出版社名、出版年を明記してください。課題図書については裏面に一覧があります。

25

10	400字以上			
	500字以内			
	著者名	書名	出版社名	出版年

2. あなたが法政大学通信教育部の文学部・日本文学科で何を学ぼうとしているかを述べてください(200字以内)。

25

8

通信教育部文学部日本文学科 課題図書

選択した図書のチェックボックスに を入れてください。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 小林ふみ子『へんちくりん江戸挿絵本』（インターナショナル新書） |
| <input type="checkbox"/> 森鷗外『青年』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 鈴木俊幸『江戸の本づくし—黄表紙で読む江戸の出版事情—』（平凡社新書） |
| <input type="checkbox"/> 夏目漱石『それから』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 井波律子『論語入門』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 芥川龍之介『歯車』（岩波文庫） | <input type="checkbox"/> 下定雅弘『精選 漢詩集—生きる喜びの歌—』（ちくま新書） |
| <input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎『春琴抄』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 川合康三『白楽天—官と隠のはざまで—』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫） | <input type="checkbox"/> 渡邊義浩『三国志—演義から正史、そして史実へ』（中公新書） |
| <input type="checkbox"/> 太宰治『斜陽』（新潮文庫、岩波文庫） | <input type="checkbox"/> 齋藤希史『漢文脈と近代日本』（角川ソフィア文庫） |
| <input type="checkbox"/> 坂口安吾『墮落論』（集英社文庫、岩波文庫ほか） | <input type="checkbox"/> 鈴木孝夫『日本語と外国語』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 川端康成『眠れる美女』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 池上嘉彦『英語の感覚・日本語の感覚』（NHKブックス） |
| <input type="checkbox"/> 三島由紀夫『春の雪』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 小林隆・澤村美幸『ものの言いかた西東』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 村上春樹『国境の南、太陽の西』（講談社文庫） | <input type="checkbox"/> 西村義樹・野矢茂樹『言語学の教室—哲学者と学ぶ認知言語学—』（中公新書） |
| <input type="checkbox"/> 平野啓一郎『マチネの終わりに』（文春文庫） | <input type="checkbox"/> 白井恭弘『ことばの力学—応用言語学への招待—』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 中上健次『枯木灘』（河出文庫） | <input type="checkbox"/> 原沢伊都夫『日本人のための日本語文法入門』（講談社現代新書） |
| <input type="checkbox"/> 小林秀雄『モーツァルト・無常という事』（新潮文庫） | <input type="checkbox"/> 山口仲美『日本語の古典』（岩波新書） |
| <input type="checkbox"/> 柄谷行人『日本近代文学の起源 原本』（講談社文芸文庫） | <input type="checkbox"/> 脇田晴子『女性芸能の源流—傀儡子・曲舞・白拍子—』（角川ソフィア文庫） |
| <input type="checkbox"/> 安藤宏『「私」をつくる—近代小説の試み—』（岩波新書） | <input type="checkbox"/> 松岡心平『能の見方』（角川ソフィア文庫） |
| <input type="checkbox"/> 穂村弘『短歌の友人』（河出文庫） | <input type="checkbox"/> 増田正造『世阿弥の世界』（集英社新書） |
| <input type="checkbox"/> 西郷信綱『日本の古代語を探る—詩学への道』（集英社新書） | <input type="checkbox"/> 桐竹勘十郎・吉田玉女『文楽へようこそ』（小学館） |
| <input type="checkbox"/> 益田勝実『火山列島の思想』（講談社学術文庫） | <input type="checkbox"/> 渡辺保『歌舞伎—過剰なる記号の森』（ちくま学芸文庫） |
| <input type="checkbox"/> 工藤重矩『源氏物語の結婚』（中公新書） | <input type="checkbox"/> 延広真治『江戸落語 誕生と発展』（講談社学術文庫） |
| <input type="checkbox"/> 渡部泰明『和歌とは何か』（岩波新書） | |
| <input type="checkbox"/> 草野隆『百人一首の謎を解く』（新潮新書） | |
| <input type="checkbox"/> 日下力『いくさ物語の世界—中世軍記文学を読む—』（岩波新書） | |
| <input type="checkbox"/> 田中善信『芭蕉—「かるみ」の境地へ—』（中公新書） | |
| <input type="checkbox"/> 田中優子『江戸の恋—「粹」と「艶気」に生きる—』（集英社新書） | |